

宮古島市農業委員会の【農地利用最適化推進委員】候補者推薦書(団体用)

申込日 平成29年6月15日

宮古島市長 下地 敏彦 様

宮古島市農業委員会の農地利用最適化推進委員候補者として、次の者を推薦します。

推薦する活動区（活動区一覧から選択し記載してください）		
第1希望活動区（※必須記載）	第2希望活動区	第3希望活動区
平良1区	平良2区	平良3区

推薦者（法人又は団体、自治会、JA(部会等含む)、青年農業者組織、等）

組 織 の 名 称	〇〇〇自治会
所 在 地	宮古島市〇〇字〇〇XXX番地
代表者または管理人の役職・氏名	役職：自治会長 氏名：宮古島 太郎 印
代表者または管理人の連絡先	■ 携帯電話（必須）：090-XXXX-XXXX
組 織 の 設 立 目 的	----- 自治会行政区内住民の福祉を増進する。 -----
構 成 員 た る 資 格 （構 成 員 と し て の 資 格 要 件）	----- 自治会行政区内に住所を有する者 -----
組 織 の 設 立 年 月 日	昭和・平成 45年 10月 1日 ■ 不明
構 成 員 の 人 数	150人
【推薦の理由】	
認定農業者として、農地の利用集積・集約化を自ら実践し、規模拡大を図っている。また、地域農業や農家情報に精通しており、担い手への農地集積や耕作放棄地の未然防止・解消等、農業委員としての業務に貢献できると考える。	
農業委員・農地利用最適化推進員のどちらにも推薦・応募ができますが、兼務はできません。	
農業委員への推薦状況（どちらかに○）⇒ 推薦している・ 推薦していない	

被推薦者（農地利用最適化推進委員の候補者として推薦する者）

※ フリガナも記入してください 氏 名	性別	生 年 月 日（満年齢）	
ミヤコジマ イチロウ 宮古島 一郎 印	男	昭和・平成 40年 6月 15日（52才）	
住 所（住民票登録地）		職 業（職種）	
宮古島市平良字下里XXX番地		農 業	
本 籍			
同 上			
【被推薦者の連絡先】 ■ 自宅固定電話：7X-XXXX ■ 携帯電話（必須）：080-XXXX-XXXX			

宮古島市農業委員会の【農地利用最適化推進委員】候補者推薦書(団体用)

被推薦者氏名：宮古島 一郎

【被推薦者の経歴（職名・役職名など含む）】

昭和XX年X月X日 ～ 平成XX年X月X日 株式会社〇〇建設入社、作業員・営業職など
平成XX年X月X日 ～ 退職し、就農開始
平成XX年X月X日 ～ 平成XX年X月X日 JAOO部会部会長
平成XX年X月X日 沖縄県野菜品評会にて金賞受賞
平成XX年X月X日 沖縄県指導農業士に認定
平成XX年X月X日 ～ 平成XX年X月X日 OOO自治会役員

地域の役員やボランティア活動の経験などあれば、それらも記載してください。

【被推薦者の農業経営の状況】

◎ 耕作農地面積（単位は選択）： 24,000 m²・a（アール） ※ 該当する単位を○で囲んでください。
◎ 経営作目：とうがん、さとうきび
◎ 年間農業従事日数：250 日

◎ 被推薦者の農業経営状況についての説明（下段に記載）

営農21年目。現在は25mmパイプハウス6棟（15a）でのとうがん栽培と、さとうきび夏植え120a、株出し100aで営農している。主品目であるとうがんの平均反収は現在18トンで、20トン为目标に工夫を重ねている。

【被推薦者の抱負など（自己PR、委員として取り組みたい事項等）】

長年農業経営を続けてきた中で、地域の農業者が高齢化して農業経営が困難になり、農地が遊休化しつつある現状を目の当たりにしてきた。農業は宮古島の重要な基幹産業なので、高齢化により衰退しないよう、豊かな農地が意欲ある担い手に集積されていくよう取り組んでいきたい。

農業委員会事務局が発行する「農業従事証明書」の添付の有無 ⇒ 添付している 添付していない

※3枚目の「農地利用最適化推進員の活動区一覧」は提出の必要はありません。

次のページへ